

## 第3回新居浜市長期総合計画策定市民会議教育文化部会会議録

1 日 時 平成21年12月22日（火） 14：00～16：00

2 場 所 市役所5階 大会議室

3 出 席 者

委 員 ○部会長 加藤彪 ○副部会長 篠原雅士  
○天野伸壽 ○鴻上隆文 ○坪本道夫 ○永易良樹 ○松原隆子  
○横川アケミ

（欠席） ○藤田優 ○水田史朗

事務局 ○専門部会長 高橋康文 ○専門部会班長 関福生

○推進員 菅一好、坪井利一郎、坂本睦美、木村和則、久葉裕可  
佐薙博幸、沢田友子

○まちづくり担当 松原広

4 傍 聴 者 伊藤初美、西原司

5 議 事  
(1) 施策体系検討ワークシートの検討  
(2) 次回開催日程の調整

部会長	本日は第3回目の新居浜市長期総合計画策定市民会議教育文化部会の開催です。お手元の資料に基づき、「スポーツ」「芸術文化」「芸術文化施設」「近代化産業遺産」の項目につきましてご意見をいただきます。 まず、「スポーツ」について意見をお願いします。
委員	平成29年の愛媛国体では新居浜市で軟式野球、サッカー、セーリング、ウエイトリフティングの4種目が開催される予定である。 総合運動公園ではなく総合体育館の建設を第5次長期総合計画の中に文言として明記してほしい。
委員	子どもの体力低下ということで、夏休みに学校の体育館などを開放して、子どもがからだを動かす場所を提供してほしい。 全国大会など特別な行事や、体育館の建設などには市民の寄付をもとめてはどうか。

委員	体育協会では小中学生のジュニア育成をめざしている。地元のクラブの子どもたちが成長して種目協会で本格的にスポーツをして全国大会に出場できるように、地域にも、体協にも支援をしてほしい。 スポーツに参加する子どもの割合を増やしていきたい。
部会長	スポーツは健康増進・体力維持のすそ野を広げるレクリエーションスポーツと頂点をめざす競技スポーツがありますが、どちらも指導者、競技する場所、用具、設備が必要です。
委員	河川敷で様々なスポーツを行っているが、トイレがなくて困っている。トイレを整備してほしい。
事務局	河川敷は河川法で強固な構築物を設置することができない。河川敷の再編整備計画の中で、検討中です。
部会長	次に、「芸術文化」「芸術文化施設」についてご意見をお願いします。まず、事務局より芸術文化施設建設について経緯・概要について説明をお願いします。
事務局	(芸術文化施設建設に至る経緯・経過及び施設の概要について説明)
委員	立体駐車場は大丈夫なのか？
事務局	ホテル併設を予定していたので、立体駐車場となっているが、ホテルができないのであれば、平面駐車場の150台で大丈夫と思う。
委員	駐車場が少ないのでは。
委員	使う側、関係者が施設建設プロジェクトの中に入っている？
委員	市民の意見を聞き、その意見を反映させながら施設の計画を作ってきた。
事務局	現在府内プロジェクトで検討しているが、府内の意見がまとまった後、市民のみなさんの意見を聞く予定。
委員	出来た後で、あれがほしかったなどなどいうことがないように。
委員	郷土美術館の小学生を対象にした催しとは？
事務局	企画展にあわせてワークショップを開催している。大きな筆を使っての書道や油絵具を使うなど、普段さわることのできない道具を使って体験してもらっている。
委員	学校教育の中で時間を作って美術館を見学することができればいい。

	企画展を生涯学習大学などで広報することはできないか。集客が期待できると思うが。
部会長	子どもたちにより質の高い芸術文化に触れる機会と体験学習を通じて喜びを感じさせてあげたい。音楽だけでなく、美術や書道などでもできればいい。
委員	芸術文化施設のホールは150人の規模でどのような使い方ができるのか？市民のリピーターが獲得できるのか？しっかりした器がないといい作品、いい演奏家は集まらない。
事務局	文化センターと住み分けするため小ホールとした。市民の展覧会だけでなく、全国的規模の企画展ができる施設設備とする。また、文化センター施設は第5次長期総合計画の中で改築するか建て替えるか検討する。
委員	地元の子どもが喜ぶ施設にしてほしい。
委員	練習する楽しみ、交流する場がほしい。
委員	お客様を呼べる特別展をしてほしい。
委員	小さい美術館でもいい企画展ができる。いいのであれば遠くからも人が集まる。
委員	とにかく施設をつくること。施設ができないとどうにもならない。
部会長	駅前に足をはこんでもらって、にぎわいの創出につながる施設にしてほしい。
事務局	できた施設の運営方法についてどのような形態をとればよいのか。
委員	市民が施設の運営にたずさわり、広報していきたい。
委員	芸術文化関係者にアンケートをして知恵を拝借してはどうか。
委員	小中学生が参加しやすい内容を考えてほしい。
部会長	次に、近代化産業遺産についての意見をお願いします。
委員	観光客を集める方策を考えながらやってほしい。
委員	広報が十分でない。登録有形文化財に登録されたのに一般に知られていないのが非常に残念。定期的（毎月）に文化財めぐりをして意識づけをする。子どもたちを対象に実施すると外へ出たときにPRになる。
委員	先生が深く理解していないと子どもに教えられないで、教員対象の研修があればよい。

委員	近代化産業遺産は全市的な遺産であるので、市民全員に知ってほしい。市民意識を高める方法はないのか。
委員	やはり教育が大切。教師から子どもへ、子どもから孫へと文化を受け継ぐシステムを作ってほしい。
部会長	地域に住む市民の努力が文化を後世に残すことにつながるし、市外へ文化を発信することもできる。
事務局	市民は新居浜のよさを見直してきている。子どもたちも学習意欲にめざめているので、社会教育と学校教育の融合を定着させたい。
委員	環境遺産につなげられないか？
事務局	産業遺産の奥にあるものを見てほしい。単なる遺物ではなくそれを作った歴史を理解してほしい。
委員	公民館としては、郷土芸能として伝えていきたい。
部会長	次に、第4回市民会議の日程について事務局から説明をお願いします。
事務局	次回は、施策まとめシートについてご協議をお願いします。日程については、3月23日(火)の14時から。場所は未定です。
部会長	これで、第3回長期総合計画策定市民会議教育文化部会を終了します。